



特許ニュースは

- 知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術予測等の専門情報紙です。

定期購読料 1カ年75,090円 6カ月39,165円
(税・配送料込み)

本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び
入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

令和7年 12月17日(水)
(2025年)

No. 16528 1部377円(税込み)

発行所

一般社団法人 発明推進協会

東京都港区虎ノ門2-9-1

虎ノ門ヒルズ 江戸見坂テラス

郵便番号 105-0001

[電話]03-3502-5493

発明推進協会ウェブサイト <https://www.jiii.or.jp>

目次

☆特集：知的財産法と行政法の交錯(3)
イノベーションの促進と知的財産法～知的財産権侵害罪の規定に着目して～(1)

☆オンライン知的財産セミナー《新春知財セミナー》
(知的財産分野の悩ましい問題について)…(8)

特集：知的財産法と行政法の交錯(3)

イノベーションの促進と知的財産法 ～知的財産権侵害罪の規定に着目して～

一橋大学大学院法学研究科

教授 田中 良弘

本稿は、「特集：知的財産法と行政法の交錯」の第3回である。第1回(本紙令和7年6月18、19日号。筆者執筆)では、行政法学における法領域論を踏まえつつ、知的財産法の刑罰規定について行政法の視点から検討を行った。また、第2回(本紙令和7年6月24、25日号。宮森征司新潟大学准教授執筆)では、特許権の公権としての性格に着目し、行政法の視点から、特許権の法的性質について再検討を行った。本号においても、引き続き行政法学の視点から、知的財産法について検討を行う。

UnitedGIPs

GIP
Shinjuu GLOBAL IP

弁理士法人 新樹グローバル・アイピー

大阪市北区南森町1丁目4番19号サウスホレストビル11階 〒530-0054
Tel 06-6316-5533

www.giplaw-osaka.co.jp mailosaka@giplaw-osaka.co.jp

代表弁理士 山下 託嗣
代表弁理士 村井 康司
代表弁理士 加藤 秀忠
弁理士 堀川 かおり
弁理士 元山 雅史
弁理士 小野 健太郎
弁理士 遠藤 真治

弁理士 夫 世進
弁理士 本田 恵
弁理士 川分 康博
弁理士 古賀 稔久
弁理士 松山 習
弁理士 西尾 剛輝
弁理士 大西 一郎
中国弁理士 鄭 徳虎
カスタマー・サービスマネージャー フィリップ・シェンハオ・トン※

弁理士 福山 正寿
弁理士 石川 貴之
弁理士 香山 良樹
弁理士 小出 宗一郎
弁理士 三崎 正輝※
弁理士 魯 佳瑛
弁理士 上田 雅子
韓国弁理士 朴 沼泳
弁理士 合路 裕介※
弁理士 金田 祥子
弁理士 小林 亜子
弁理士 黒川 惇
弁理士 長谷 真司
弁理士 岡崎 信治
(日本弁理士ABC順)

※米国パテント・エージェント試験合格者(未登録)